

千葉県立病院運営懇談会

平成21年10月21日(水)
ホテルポートプラザちば 2階「ロイヤル」

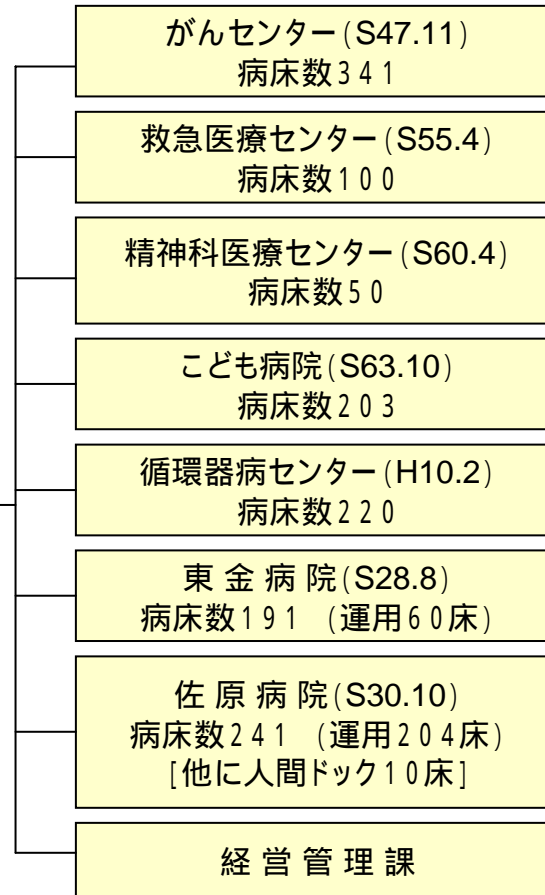
1 県立病院の概要

病床数合計 1,346床(運用病床数 1,178床)
 職員数(21年4月) 2,008人(医師数324人)
 年間事業費(20年度) 379億円
 年間延べ患者数(20年度) 入院 34万人 外来 47万人

H.16.4
 地方公営企業法を
 全部適用
 千葉県病院局設置

病院事業管理者
 (病院局長)

役割
県立7病院を経営し、病院
 の業務を執行する。



(2) 県立病院の施設の状況

施設名	開設年月	病床数		建物面積 (敷地面積)	現 状
		許可	運用		
がんセンター	S47.11	341	341	31,001 m ² (52,760 m ²)	36年経過(本館)、老朽化(雨漏等)、狭隘化、患者アメニティ(6床室等)、一部耐震性不足
救急医療センター	S55.4	100	100	11,172 m ² (21,814 m ²)	29年経過、一部耐震性不足(3・4階部分) 塩害による施設の老朽化(全館的な配管の腐食等) 施設の狭隘化(処置室等)
精神科医療センター	S60.4	50	50	3,798 m ² (8,777 m ²)	24年経過、塩害による施設の老朽化(配管の腐食等) 外来患者増等による施設の狭隘化(外来ロビー等) 患者アメニティ(段差等)
こども病院	S63.10	203	203	19,070 m ² (41,609 m ²)	21年経過、救急搬入口等の未整備、分娩機能の未整備
循環器病センター	H10.2	220	220	21,925 m ² (61,842 m ²)	11年経過 なお、昭和30年2月に前身の鶴舞病院開設
東金病院	S28.8	191	60	13,190 m ² (17,115 m ²)	40年経過(昭和44年7月現病院建築) 老朽化(雨漏り等)、一部耐震性不足(C棟 = 未使用)
佐原病院	S30.10	241	204	15,418 m ² (24,011 m ²)	35年経過(昭和49年3月本館建築) 本館耐震性不足 患者アメニティ(段差等)

(3) 職員数

	医師	看護師	その他 医療技術	事務	その他	計
がんセンター	80	293	83	16	8	480
救急医療 センター	39	178	41	12	11	281
精神科医療 センター	12	54	5	19	2	92
こども病院	70	281	47	16		414
循環器病 センター	44	251	50	14	5	364
東金病院	9	58	19	9	9	104
佐原病院	20	167	34	10	5	236
経営管理課		2	2	32		36
計	1 274	2 1,284	281	128	40	3 2,007

- 1 医師には医員(嘱託)を含む。このほかレジデント、初期研修医を含めると324人
- 2 看護師には保健師、助産師を含む。
- 3 事業管理者を含まない

(3) - 2 医師数の推移

(各年度4月1日現在 単位:人)

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
がんセンター	70	72	69	75	80	87	80
救急医療センター	40	39	37	36	39	39	39
精神科医療センター	11	12	11	13	13	13	12
こども病院	56	57	62	65	59	62	70
循環器病センター	51	51	49	50	46	47	44
東金病院	24	23	17	12	12	9	9
佐原病院	28	27	23	19	18	18	20
[レジデント]				2	17	22	23
[初期研修医]		7	15	28	20	19	27
計	280	288	283	300	304	316	324

医師数は、正規職員・医員(嘱託)及びレジデント、初期研修医の合計数
レジデント及び初期研修医はローテーションのため各病院に含めず別掲

(3) - 3 看護師数の推移

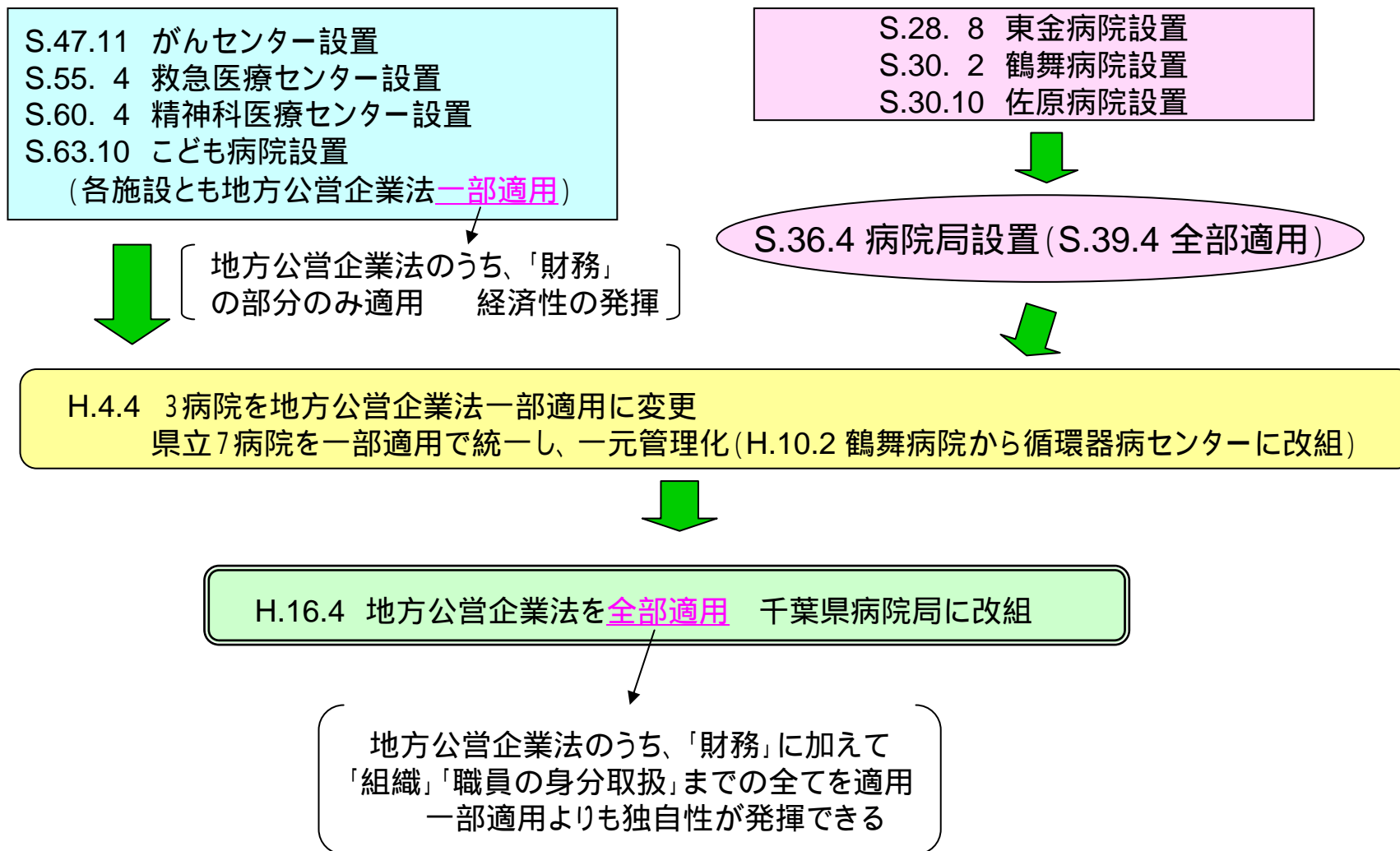
(単位:人)

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
4/1職員数	1,191	1,171	1,141	1,191	1,212	1,259	1,282
4/1産育休等数	58	56	61	73	91	93	105
4/1実質職員数	1,133	1,115	1,080	1,118	1,121	1,166	1,177
年度中退職者数	110	126	99	107	82	100	

保健師、助産師を含む

産育休等は、産前産後休暇、育児休業、退職等の職員の合計数

(4) 経営形態の変遷



(5) 県立病院が担うべき役割

県保健医療計画で定める県立病院の役割

「循環型地域医療連携システム」を補完・拡充する機能、すなわち、医療圏内で完結することができない高度専門医療の最後の砦としての全県(複数圏域)対応型医療機能

二次保健医療圏で完結する一般的な地域医療については、全県的見地からの対応ではなく、地域の実情を踏まえた医療提供体制を整備していく必要があることから、地域の民間病院や市町村等が担うことが重要

⇒ 地域の医療提供体制が整うまでは県立病院として充実させていく

【具体的な医療機能】

- (1) 先端・高度専門的ながん医療と研究
- (2) 高度専門的な循環器医療
- (3) 高度専門的なこども医療と周産期医療
- (4) 全県(複数圏域)を対象とした救急医療
- (5) 全県(複数圏域)を対象とした精神科医療

(6) 各県立病院の特徴

がんセンター	<p>日本で3番目に創設されたがん専門病院</p> <ul style="list-style-type: none"> - 放射線治療や遺伝子治療などの高度先進治療を実施 - 設立時から研究局を併設 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内がん医療の最後の砦 ・都道府県がん診療連携拠点病院 ・臨床と連携したがん研究、先進治療の開発
救急医療センター	<p>全国的にも稀有な独立型救命救急センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内唯一の高度救急救命センター ・県全体の救急医療を支える最後の砦
精神科医療センター	<p>全国で初めて精神科救急医療を实践</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科救急に特化した短期集中治療型病院 ・本県唯一の精神科三次救急施設
こども病院	<p>心臓の奇形をはじめとする先天性異常疾患や白血病の治療において全国トップクラスの治療実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全県的な小児医療の最後の砦 ・特に新生児医療と外科的疾患に広く対応
循環器病センター	<p>県内唯一のガンマナイフによる脳血管疾患の治療と、全国に先駆けて成人先天性心疾患治療に取り組む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全県を対象とした特殊な心疾患や脳血管疾患の診断と治療 ・地域医療の提供
東金病院	<p>1市1町の地域医療センターへ引き継ぐ予定(平成25年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療の提供
佐原病院	<p>24時間体制の救急患者受付</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療の提供

(7) 収支の状況

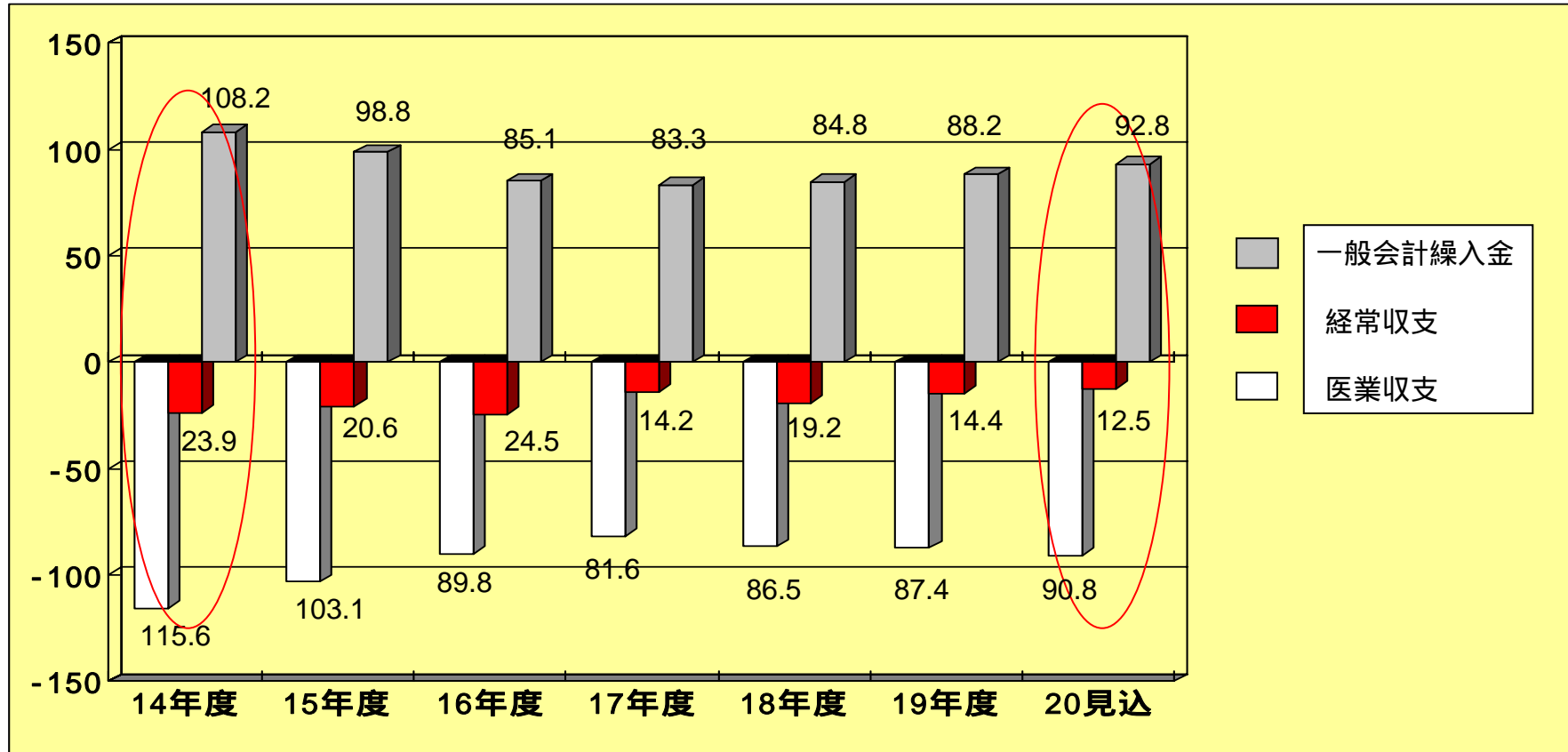
ア 収支の推移(表)

単位:百万円

区 分	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20見込
収益	36,784	36,008	34,962	34,832	34,840	35,733	36,670
医業収益	25,597	25,775	26,180	26,202	25,988	26,624	27,027
うち入院収益	18,203	18,862	19,151	18,808	18,898	18,803	18,975
うち外来収益	7,129	6,597	6,646	7,000	6,703	7,432	7,681
医業外収益	11,187	10,233	8,772	8,630	8,852	9,109	9,643
うち一般会計 繰入金	10,821	9,877	8,512	8,333	8,479	8,823	9,281
費用	39,178	38,063	37,412	36,249	36,766	37,177	37,919
医業費用	37,154	36,081	35,160	34,365	34,640	35,362	36,105
医業外費用	2,024	1,981	1,801	1,808	2,126	1,815	1,814
医業収支	11,557	10,306	8,980	8,163	8,652	8,738	9,078
医業外収支	9,163	8,252	6,971	6,821	6,726	7,294	7,829
純利益	2,394	2,055	2,450	1,417	1,925	1,444	1,249

イ 収支の推移(図)

単位:億円



収支状況を平成14年度と平成20年度を比較すると
 繰入金は15.4億円減少
 医業収支は24.8億円改善
 経常収支も11.4億円改善
 の傾向にある

一般会計繰入金の近県との比較 単位:億円、%

	総収益	繰入金(収益に占める率)
東京都	1,370.8	417.7(30.5%)
神奈川県	499.7	148(29.6%)
千葉県	366.7	92.8(25.3%)
埼玉県	352.8	72.5(20.5%)

エ 平成20年度決算見込み

単位:百万円

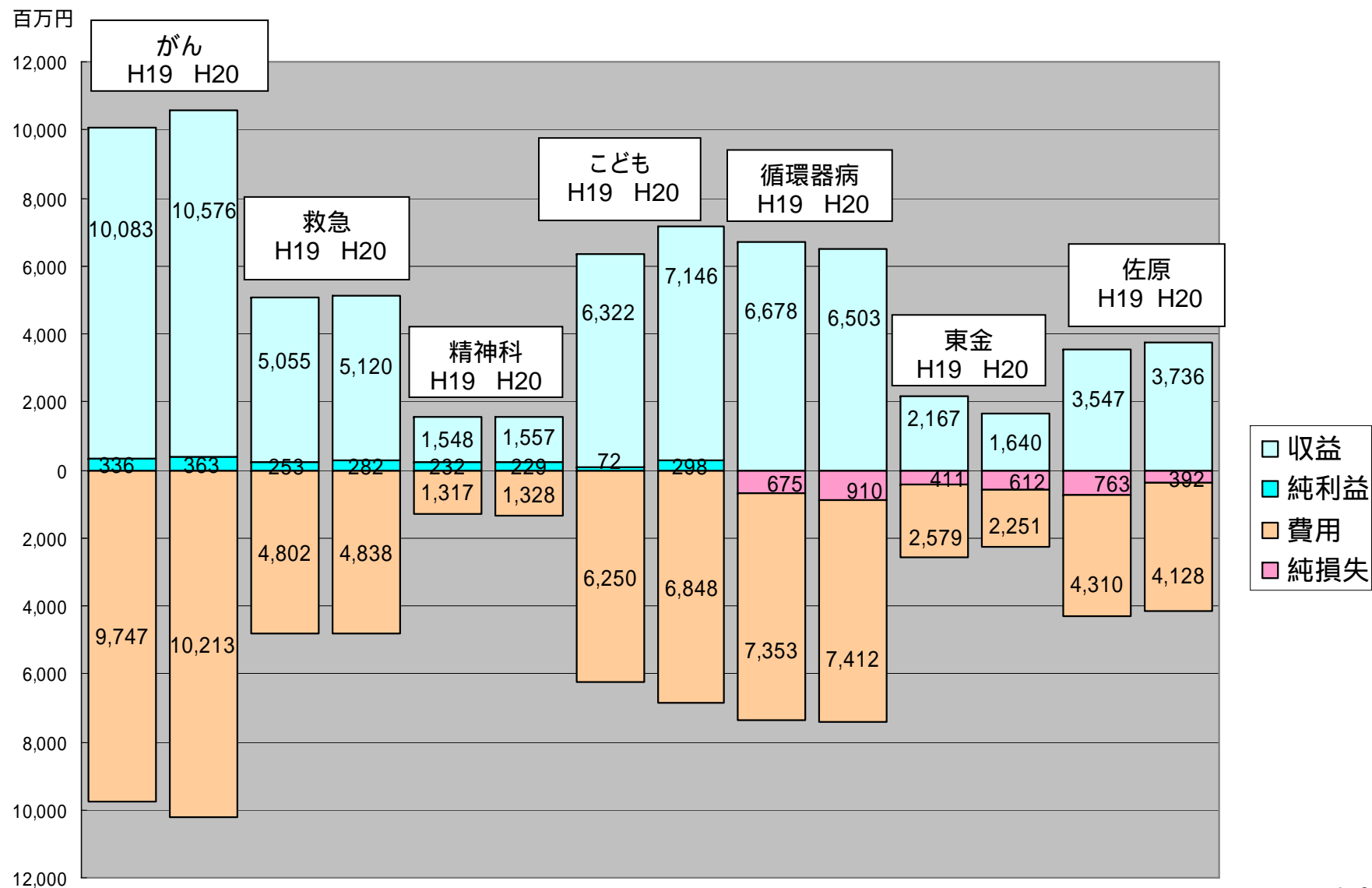
区 分	がん センター	救急医療 センター	精神科 医療 センター	こども 病院	循環器病 センター	東金 病院	佐原 病院	経営 管理課	事業合計
収益	10,576	5,120	1,557	7,146	6,503	1,640	3,736	393	36,670
医業収益	8,267	3,246	1,058	5,066	5,071	1,212	3,107	0	27,027
うち入院収益	4,621	2,917	584	3,749	4,349	520	2,235	0	18,975
うち外来収益	3,518	308	464	1,294	639	686	771	0	7,681
医業外収益	2,310	1,874	499	2,080	1,432	427	629	393	9,643
うち一般会計 繰入金	2,118	1,848	465	2,056	1,407	404	618	365	9,281
費用	10,213	4,838	1,328	6,848	7,412	2,251	4,128	900	37,919
医業費用	9,792	4,642	1,283	6,489	6,917	2,165	3,932	885	36,105
医業外費用	421	196	45	359	495	87	196	15	1,814
医業収支	1,525	1,396	225	1,423	1,846	952	825	885	9,078
医業外収支	1,889	1,678	454	1,721	937	341	433	378	7,829
純利益	363	282	229	298	910	612	392	507	1,249
5病院・2病院	263					1,004			

資金残高は、2,609百万円となっている。

この他、施設整備等に係る資金的収入として、一般会計繰入金1,263百万円を受けており、繰入金の合計は10,544百万円。

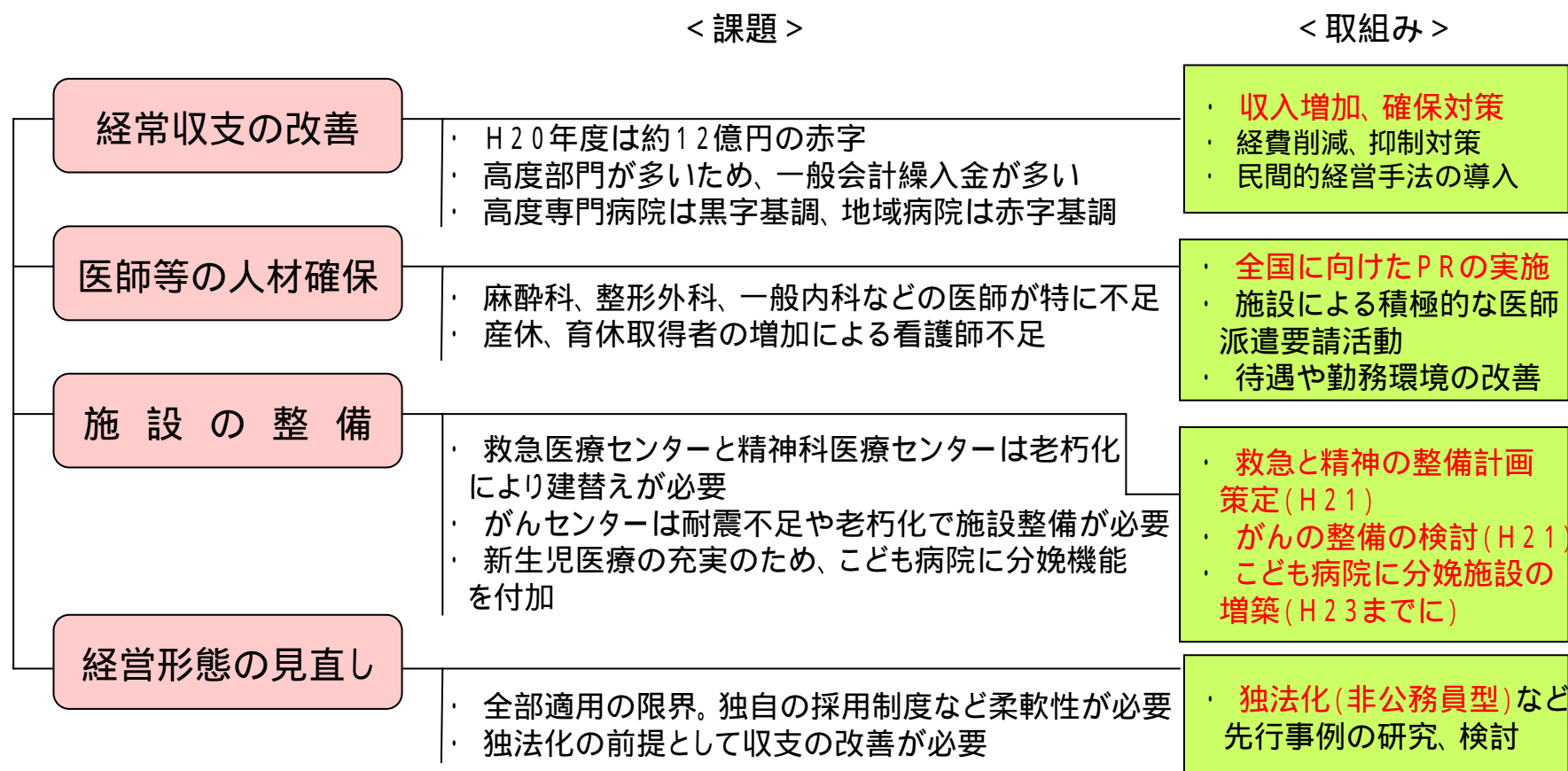
オ 病院別損益の前年度比較

	がんセンター	救急医療センター	精神科医療センター	こども病院	循環器病センター	東金病院	佐原病院
改善額	+ 27	+ 29	3	+ 227	235	200	+ 371



2 課題と取組み

(1) 病院局全体



経常収支の改善

1 課題

(1) 病院事業会計の赤字解消

- ・平成20年度決算見込み = 12億円 ← 前年度より約2億円改善
(高度専門5病院 + 2.6億円 地域2病院 10億円 経営管理課 5億円)

2 取組み

(1) 収入増加・確保対策

- ・早期に患者相談に応じることによる未収金の発生防止
- ・地域医療連携を拡充し紹介率の向上による患者数の増加

(2) 経費削減・抑制対策

- ・委託契約の見直し(一括契約、複数年契約等)による費用の削減
- ・医薬品・診療材料について、県立病院間での共同購入の拡大により費用の削減など

(3) 民間的経営手法の導入

- ・民間経験者を採用

医師等の人材確保

1 課題

(1) 医師不足

- ・麻酔科、整形外科、一般内科等特定診療科の医師の不足

(2) 看護師不足

- ・育児休業、産休等が年々増加していることによる看護師不足

2 取組み

(1) 共通の確保対策

- ・県立病院の魅力を全国にPR
- ・給与面の待遇改善と適正な評価
- ・勤務環境の改善 ⇨ 育児短時間勤務制度の活用促進、院内保育所の充実

(2) 医師の確保対策

- ・医科大学等への医師派遣要請
- ・研修医の受入促進 ⇨ 初期・後期研修医の積極的受入れ
- ・医師の交流促進 ⇨ 県立病院間の人材有効活用、近隣医療機関との医師交流促進

(3) 看護師の確保対策

- ・新規採用者の辞退率低下の取組 ⇨ 第1希望病院への優先配属
- ・離職防止のための取組 ⇨ 職場研修の充実、メンタル面の支援
- ・潜在看護師の受入促進 ⇨ 職場復帰研修の実施、勤務時間の弾力化

施設の整備

救急医療センター・精神科医療センターの建替え

【救急医療センター】

(1) 課題

- ・満床による救急患者の受入断り
- ・老朽化(給排水管や電気系統の機能劣化等)
- ・機能の陳腐化(敷地外ヘリポート、救急処置室等の狭小化による最新の医療技術の利用に支障) など

(2) 取組み ⇨ 施設整備計画の策定(平成21年度)

- ア 多くの救命救急患者の受入
- イ 機能の陳腐化への対応
- ウ 全県的な救急搬送コーディネーターセンターなどとしての対応
- エ 都市型災害(テロ、列車事故など)の中核的医療センターとしての対応

【精神科医療センター】

(1) 課題

- ・満床が常態化
- ・外来診療室・待合スペースの不足
- ・リハビリ施設の狭隘化
- ・身体的合併症を有する患者の増加
- ・老朽化(給排水管の劣化や雨漏り等) など

(2) 取組み ⇨ 施設整備計画の策定(平成21年度)

- ア 多くの精神科救急患者の受入
- イ 外来患者の増加への対応
- ウ 身体的合併症を有する患者への適切な医療
- エ 医療観察法指定入院医療機関

施設の整備

がんセンターの施設整備の検討

1 課題

- ・老朽化の進行
- ・外来患者の増加による診療スペースの狭隘化
- ・一部施設の耐震不足

2 取組み

- ・施設整備の方向性の検討 → その後整備計画の策定

こども病院への分娩機能の付加

1 課題

- ・出生後に新生児だけをこども病院へ搬送
→ すぐに治療できない、救急搬送中のリスク、母子分離による母親の不安

2 取組み

- ・こども病院の機能を活かしつつ分娩機能を付加 → 23年度オープン予定

経営形態の見直し

1 課題

(1) 地方公営企業法全部適用の限界

- ・戦略性、柔軟性、迅速性を欠く
- ・病院経営に必要な人の配置ができない
- ・公務員給与のため柔軟な対応ができない
- ・変化に応じた迅速な予算執行ができない

2 取組み

(1) 経営形態見直しの検討

- ・非公務員型の地方独立行政法人について、先行事例の比較検討

(参考) 県立病院将来構想検討会報告(20年11月25日)

非公務員型の地方独立行政法人については、経営の各場面でその効果が発揮できる効率的経営形態の側面が多いので、移行を積極的に検討すべきである。

(2) 千葉県立病院改革プラン(21年3月策定)

ア プラン概要

公立病院改革ガイドライン

(平成19年12月 総務省通知)

21年度から3年間で経常収支の黒字化を目指す計画づくり
(再編・ネットワーク化や経営形態の見直しについても状況により記載する)

中期経営計画[H20～H22]

- ・患者サービスの向上
- ・良質な医療サービスの安定的提供
- ・経営基盤の確立



中期経営計画の見直し

千葉県立病院改革プランの概要

経営の効率化に係る計画

収入確保策や経費削減策、民間的経営手法の導入、施設整備等を記載

各病院の収支計画

(単位:百万円)

病院名	がん	救急	精神	こども	循環器	東金	佐原	小計	経営管理課	合計
23年度	569	214	207	169	375	367	162	255	709	454
					(26年度) 156	(25年中目途 引継予定)	(24年度) 6			(25年度) 173

7病院合計で 23年度に 2億5500万円の黒字化 予定

病院局全体(経営管理課含む)で 25年度に 1億7300万円の黒字化 予定 (金額は消費税込み)

再編・ネットワーク化

東金病院:東金市、九十九里町による地域医療センター開設時(25年中目途)に引継予定
佐原病院:国保小見川総合病院との再編・ネットワーク化について、今後協議予定

経営形態の見直し

非公務員型の独立行政法人などへの移行について課題等の整理を行い、経営形態の見直しについて検討

イ 経営効率化計画の主な取組み

(ア) 民間的経営手法の導入

- ・民間的経営手法導入のため事務局に民間経験者を採用
- ・病院に経営戦略のセクションを設置し医師を配置

(イ) 経費削減・抑制対策

- ・委託契約の見直し(一括契約、複数年契約等)による費用の削減
- ・医薬品・診療材料の共同購入の拡大
- ・コンサルタント会社を導入して得たノウハウを活かした診療材料の節減
- ・DPCの分析により、より効率的な資源投入による経費削減
- ・電子カルテと物流システムを連携させ在庫管理の適正化による経費削減

(ウ) 収入増加・確保対策

- ・地域医療連携を拡充・強化し在院日数短縮による新規受入患者の増加
- ・手術室の機能を強化し手術件数の増加による収入の増加
- ・診療報酬請求の改善に向け、民間コンサルタントの活用
- ・早期に患者相談に応じることによる未収金の発生防止

(工) 施設整備

- ・老朽化等している施設の建替えなどの検討
- ・施設整備をできるだけ安価に行うため、設計や契約等に民間的手法を取り入れられるよう検討

(オ) その他

- ・医師の事務補助機能を整え医師の本来の医療業務の充実と収入の増加
- ・医療安全管理体制の充実など医療従事者が安心して働ける環境の整備や医師・看護師の勤務環境の改善による経営基盤の強化
- ・医療従事者の研修・学会等への参加を積極的に促し、計画的な人材育成を図ることで医療技術の向上に努めることによる経営基盤の強化

ウ 病院別収支計画

(ア) 収益 1

単位:百万円

区分	年度	がんセンター	救急医療センター	精神科医療センター	こども病院	循環器病センター	東金病院	佐原病院	病院計
収益	20	10,589	5,122	1,558	7,148	6,508	1,641	3,742	36,308
	21	11,320	5,085	1,589	7,107	6,983	1,742	3,940	37,766
	22	11,335	5,117	1,592	7,151	7,111	1,801	4,008	38,115
	23	11,349	5,176	1,596	7,558	7,427	1,852	4,149	39,107
医業収益	20	8,274	3,248	1,059	5,067	5,075	1,213	3,113	27,049
	21	8,964	3,191	1,077	5,096	5,498	1,352	3,314	28,492
	22	8,979	3,222	1,080	5,140	5,626	1,410	3,382	28,840
	23	8,993	3,282	1,084	5,373	5,714	1,461	3,523	29,430
うち入院収益	20	4,622	2,917	584	3,749	4,349	520	2,235	18,977
	21	5,205	2,896	596	3,806	4,690	646	2,436	20,275
	22	5,224	2,916	598	3,848	4,749	648	2,471	20,454
	23	5,228	2,953	600	4,074	4,813	650	2,596	20,914
うち外来収益	20	3,519	308	464	1,294	639	686	771	7,682
	21	3,612	271	471	1,265	715	700	770	7,803
	22	3,626	282	472	1,267	782	756	803	7,988
	23	3,636	304	474	1,274	806	805	819	8,118

(ア)収益 2

単位:百万円

区 分	年度	がん センター	救急医療 センター	精神科医 療センター	こども 病院	循環器病 センター	東金 病院	佐原 病院	病院計
医業外収益	20	2,315	1,875	499	2,081	1,432	428	629	9,259
	21	2,356	1,894	512	2,011	1,485	390	626	9,274
	22	2,356	1,894	512	2,011	1,485	391	626	9,275
	23	2,356	1,894	512	2,185	1,713	391	626	9,677
うち一般会計 繰入金	20	2,118	1,848	465	2,056	1,407	404	618	8,916
	21	2,239	1,869	490	1,989	1,453	380	617	9,037
	22	2,239	1,869	490	1,989	1,453	380	617	9,037
	23	2,239	1,869	490	2,163	1,681	380	617	9,439

注:収益、費用とも20年度は決算見込み 各年度とも消費税を含む

(イ)費用・純利益

単位:百万円

区分	年度	がんセンター	救急医療センター	精神科医療センター	こども病院	循環器病センター	東金病院	佐原病院	病院計
費用	20	10,225	4,840	1,329	6,848	7,416	2,253	4,134	37,045
	21	10,962	4,971	1,378	7,046	7,732	2,258	4,384	38,731
	22	10,766	4,952	1,378	7,003	7,753	2,251	4,297	38,400
	23	10,780	4,963	1,389	7,389	7,802	2,219	4,311	38,852
医業費用	20	10,023	4,734	1,306	6,617	7,056	2,206	4,003	35,945
	21	10,771	4,889	1,359	6,838	7,366	2,222	4,266	37,711
	22	10,580	4,873	1,359	6,815	7,401	2,213	4,183	37,424
	23	10,591	4,885	1,370	7,193	7,464	2,182	4,200	37,885
医業外費用	20	203	106	23	231	360	46	131	1,100
	21	192	82	19	208	366	36	118	1,021
	22	187	79	19	188	352	38	114	977
	23	189	78	19	196	338	37	111	967
純利益	20	364	283	229	300	908	612	392	737
	21	358	114	211	61	749	516	444	965
	22	569	164	214	148	642	450	289	286
	23	569	214	207	169	375	367	162	255

病院局全体の
純利益は

H20	1,242(計画値	1,802)
H21	1,696	
H22	1,017	
H23	454	

平成23年度に7病院計で黒字化予定

(ウ)患者数

収支計画上の患者数見込

単位:人

区 分	年度	がん センター	救急医療 センター	精神科医 療センター	こども 病院	循環器病 センター	東金 病院	佐原 病院	病院計
新入院患者数	20	6,511	2,046	409	3,968	3,981	1,323	2,985	21,223
	21	7,300	2,252	435	3,750	4,027	1,680	2,900	22,344
	22	7,400	2,311	450	3,800	4,329	1,690	3,000	22,980
	23	7,500	2,398	465	4,075	4,436	1,700	3,150	23,724
延入院患者数	20	94,323	30,656	17,544	53,146	65,003	15,421	62,831	338,924
	21	100,706	30,400	17,500	55,500	65,685	19,298	62,921	352,010
	22	101,000	30,500	17,550	56,090	67,222	19,349	63,693	355,404
	23	101,000	30,700	17,600	60,065	67,955	19,401	66,612	363,333
新外来患者数	20	6,206	531	407	4,824	8,173	4,825	14,696	39,662
	21	6,600	799	630	5,100	9,062	6,300	15,200	43,691
	22	6,800	803	650	5,200	9,696	6,650	15,700	45,499
	23	7,000	827	670	5,300	9,948	7,000	16,000	46,745
延外来患者数	20	121,750	10,327	35,592	74,000	82,284	46,663	102,717	473,333
	21	124,974	10,244	36,950	75,020	88,489	48,962	104,422	489,061
	22	122,500	10,300	37,000	75,100	94,676	52,150	108,220	499,946
	23	120,000	10,600	37,050	75,400	97,136	54,731	109,950	504,867

(3) 21年4月～8月までの患者動向及び収益

ア 入院

入院		がんセンター	救急医療センター	精神科医療センター	こども病院	循環器病センター	東金病院	佐原病院	病院計
延入院患者(人)	H21	39,419	11,372	7,332	23,353	26,731	5,928	26,638	140,773
	H20	40,469	12,501	7,229	21,770	26,805	6,374	26,369	141,517
	増減	1,050	1,129	103	1,583	74	446	269	744
入院収益(千円)	H21	1,941,360	1,152,518	253,868	1,740,441	1,854,544	208,407	1,013,655	8,164,793
	H20	1,989,279	1,193,895	259,691	1,511,366	1,776,853	222,102	905,492	7,858,678
	増減	47,919	41,377	5,823	229,075	77,691	13,695	108,163	306,115
入院単価(円)	H21	49,249	101,347	34,625	74,528	69,378	35,156	38,053	/
	H20	49,156	95,504	35,924	69,424	66,288	34,845	34,339	
	増減	93	5,843	1,299	5,104	3,090	311	3,714	
	プラン	51,686	95,250	34,050	68,575	71,401	33,492	38,724	

H21、H20は4～8月までの実績

入院単価には、比較のため改革プランの21年度年間目標数値を参考に記載

イ 外来

外 来		がん センター	救急医療 センター	精神科 医療 センター	こども 病院	循環器病 センター	東金病院	佐原病院	病院計
延外来 患者 (人)	H21	54,089	4,489	14,576	31,557	32,074	19,174	44,849	200,808
	H20	50,035	4,307	15,515	31,314	34,512	19,516	43,252	198,451
	増減	4,054	182	939	243	2,438	342	1,597	2,357
外来 収益 (千円)	H21	1,648,341	138,992	207,899	583,393	255,715	287,620	363,658	3,485,618
	H20	1,441,744	127,670	199,743	512,740	252,946	282,981	322,659	3,140,483
	増減	206,597	11,322	8,156	70,653	2,769	4,639	40,999	345,135
外来 単価 (円)	H21	30,475	30,963	14,263	18,487	7,973	15,001	8,108	/
	H20	28,815	29,642	12,874	16,374	7,329	14,500	7,460	
	増減	1,660	1,321	1,389	2,113	644	501	648	
	プラン	28,899	26,422	12,750	16,863	8,080	14,298	7,373	
入院収益 + 外来収益 (千円)	H21	3,589,701	1,291,510	461,767	2,323,834	2,110,260	496,027	1,377,313	11,650,412
	H20	3,431,023	1,321,565	459,434	2,024,106	2,029,799	505,083	1,228,151	10,999,161
	増減	158,678	30,055	2,333	299,728	80,461	9,056	149,162	651,251

H21、H20は4～8月までの実績

外来単価には、比較のため改革プランの21年度年間目標数値を参考に記載

(4) 各施設の課題と取組み

がんセンター

特徴

(ア) 千葉県におけるがん医療の中核的役割

- ・国立がんセンター、愛知県がんセンターに次いで全国3番目に創設
- ・都道府県がん診療連携拠点病院の指定(平成18年8月)
 - ⇒ がん治療の均てん化と医療のレベルアップ

(イ) 心と体にやさしいがん医療の推進

- ・患者相談支援センター等による患者への相談・支援
 - ⇒ ピアカウンセラー、音楽療法士の配置
- ・良質ながん医療の提供
 - ⇒ IMRT(強度変調放射線治療装置)等の高度医療、外来化学療法、内視鏡などによる低侵襲治療の実施
- ・研究局による臨床応用を目的としたトランスレーショナルリサーチの推進



がんセンター



課題

(ア) がん医療の更なるレベルアップ

- ・急性期型がん専門病院として、他の拠点病院等の規範

(イ) より多くの患者に良質ながん医療を効率的に提供

- ・年々増加しているがん患者への対応

(ウ) 老朽化への対応

- ・昭和47年の開設から37年目で施設が老朽化

(エ) 経営改善の推進

- ・限られた医療資源の効果的な活用による収入増加と費用削減

取組み

(ア) がん医療の更なるレベルアップ

- ・がん治療の三本柱(標準的治療、先進的治療、緩和治療)の推進
- ・通院化学療法、内視鏡検査、放射線治療棟の強化、PET・CTの活用

(イ) より多くの患者に良質ながん医療を効率的に提供するためのシステムの構築

- ・地域医療連携の更なる推進
- ・新患と専門的治療を中心とした外来診療体制

(ウ) 老朽化への対応

- ・施設の改築等に向けて具体的な方向性の検討

(エ) 経営改善の推進

- ・医師を経営戦略部長として配置し、医療の充実など病院経営戦略に取り組む
- ・地域医療連携の拡充による急性期病院としての機能強化と患者数増加
- ・医事業務の見直しによるDPCに対応したよりの確な請求事務の運営
- ・DPCを分析しより効率的な医療資源の投入による経費の削減
- ・委託契約の見直し、共同購入の拡大等による経費の削減
- ・未収金の発生防止と回収による未収金の縮減
- ・医師の事務補助機能整備による医師の負担軽減と医療業務充実による収入増

収支計画

がんセンター

	19実績	20見込	21計画	22計画	23計画
新入院患者数(人)	6,813	6,511	7,300	7,400	7,500
延入院患者数(人)	99,237	94,323	100,706	101,000	101,000
新外来患者数(人)	5,793	6,206	6,600	6,800	7,000
延外来患者数(人)	114,885	121,750	124,974	122,500	120,000
入院単価(円)	47,188	48,999	51,686	51,725	51,763
外来単価(円)	27,070	28,900	28,899	29,600	30,300
平均在院日数(日)	14.5	14.5	13.5	13.0	12.5
病床利用率(%)	79.5	75.8	80.9	81.1	81.1

単位:百万円

区分	19実績	20見込	21計画	22計画	23計画
収益	10,099	10,589	11,320	11,335	11,349
医業収益	7,933	8,274	8,694	8,979	8,993
うち入院収益	4,683	4,622	5,205	5,224	5,228
うち外来収益	3,110	3,519	3,612	3,626	3,636
医業外収益	2,166	2,315	2,356	2,356	2,356
うち繰入金	2,029	2,118	2,239	2,239	2,239
費用	9,761	10,225	10,962	10,766	10,780
医業費用	9,571	10,023	10,771	10,580	10,591
医業外費用	190	203	192	187	89
純利益	338	364	358	569	569

消費税込み

救急医療センター

特徴

(ア) 重症度の高い患者の救命救急

- ・三次救急医療機関(緊急に専門的医療を必要とする重症患者を対象)
- ・県内唯一の高度救命救急センター(広範囲熱傷、指肢切断、急性中毒)
- ・県内を広くカバーする全県対応型救命救急センター(ドクターヘリ受入、広域搬送)

(イ) 救急患者の収容施設選別の支援

- ・東葛飾地域の夜間における救急コーディネート事業

(ウ) 災害拠点病院

- ・災害時における地域の医療救護活動の拠点となる病院

救急医療センター



課題

(ア) 老朽化への対応

- ・給排水、温水、蒸気等配管類、非常用発電装置、エレベーター設備等の老朽化
- ・救急処置室、手術室等の狭隘化、電源容量不足、空調能力不足等の深刻化
- ・画像情報、診療情報のIT化、病室などアメニティーの改善への対応

(イ) 新たな機能への対応

- ・低侵襲治療、先進的医療を救急医療に積極的に応用した質の高い医療の追及
- ・出来るだけ多くの救急患者の救命治療の実施
- ・全県的な救急搬送の円滑化

取組み

(ア) 施設整備計画の策定

- ・医療機能を十分発揮できるよう建替計画を策定し計画的に整備を進める
⇒ 病床の増床と個室化による患者受入体制の充実

(イ) 救急医療の更なる機能の充実

- ・平均在院日数の短縮によるベッドの有効活用
⇒ 院内プロジェクトチームによる在院日数長期化の科別・疾患別の原因分析と対応策の検討、地域医療連携パスの整備と活用
- ・救急医療情報センターとしての役割などの発揮
⇒ 全県対応の救急コーディネートセンターなどの設置

(ウ) 経営改善の推進

- ・地域医療連携の強化による早期転院と新規患者の獲得
- ・集中治療室を中心とした院内ベッドコントロールの強化
- ・コンサルタント会社を導入して得たノウハウを活かした診療材料の節減
- ・個人負担医療費に係る未収金の発生防止と回収策の強化
- ・リハビリなど施設基準の格上げによる収益増加

収支計画

救急医療センター

	19実績	20見込	21計画	22計画	23計画
新入院患者数(人)	2,259	2,046	2,252	2,311	2,398
延入院患者数(人)	30,646	30,656	30,400	30,500	30,700
新外来患者数(人)	732	531	799	803	827
延外来患者数(人)	10,567	10,327	10,244	10,300	10,600
入院単価(円)	95,580	95,160	95,250	95,600	96,200
外来単価(円)	27,390	29,843	26,422	27,390	28,700
平均在院日数(日)	13.6	14.9	13.5	13.2	12.8
病床利用率(%)	83.7	84.0	83.3	83.6	83.9

単位:百万円

区分	19実績	20見込	21計画	22計画	23計画
収益	5,057	5,122	5,085	5,117	5,176
医業収益	3,243	3,248	3,191	3,222	3,282
うち入院収益	2,929	2,917	2,896	2,916	2,953
うち外来収益	289	308	271	282	304
医業外収益	1,814	1,874	1,894	1,894	1,894
うち繰入金	1,792	1,848	1,869	1,869	1,869
費用	4,804	4,840	4,971	4,952	4,963
医業費用	4,701	4,734	4,889	4,873	4,885
医業外費用	38	106	82	79	78
純利益	234	283	114	164	214

消費税込み

精神科医療センター

特徴

(ア) 全県的な精神科救急医療サービスの提供

・県精神科救急医療システムの中核

24時間受入・病床利用率96%

平均在院日数43日(全国の8分の1=400床と同じ)・7割以上が在宅復帰

・精神科救急情報センターと初期救急対応としての電話相談窓口

(イ) 数多くの外来患者への対応等

⇒ 在宅療養・社会復帰への支援・援助

外来診療に訪れる患者は年間延35,000人前後

リハビリのためのデイホスピタル

精神科医療センター



デイ参加者作品



外来待合室

課題

(ア) 老朽化への対応

- ・救急入院に対応できる病床の不足 = 病床利用率96%以上
- ・通院患者の増加による外来スペースの狭隘化
- ・デイホスピタル利用者の増加による施設の狭隘化
- ・給排水設備・空調設備の腐食の進行

(イ) 新たな機能への対応

- ・精神科救急医療システムの中核施設の機能発揮
- ・身体的合併症を有する患者への適切な医療の提供
- ・精神科救急医療の研修教育機関としての充実
- ・医療観察法の指定入院機関としての整備

取組み

(ア) 施設整備計画の策定

- ・医療機能を十分発揮できるよう建替計画を策定し計画的に整備を進める
 - ⇒ 病床の増床と個室化による患者受入体制の充実
 - 医療観察法の入院病棟の整備

(イ) 患者受入体制の充実

- ・指定医等の人材確保により在院日数の短縮化と外来診療体制の強化
- ・精神科救急医療システムの円滑な運用
 - ⇒ 関係行政機関、輪番病院、基幹病院等の一層の連携による円滑な運用
- ・精神科救急に係る人材の育成 = 研修生等の円滑な受入のため指導者の養成

(ウ) 経営改善の推進

- ・在院日数の短縮による救急入院料算定割合の向上
- ・研修の実施や事前点検の徹底等による、より適正な診療報酬請求
- ・個人負担医療費に係る未収金の発生防止と回収策の強化
- ・委託契約の見直し(一括契約、複数年契約等)による費用の削減
- ・診療材料について、県立病院間での共同購入の拡大による費用の削減

収支計画

精神科医療センター

	19実績	20見込	21計画	22計画	23計画
新入院患者数(人)	462	409	435	450	465
延入院患者数(人)	17,628	17,544	17,500	17,550	17,600
新外来患者数(人)	737	510	630	650	670
延外来患者数(人)	38,070	35,592	36,950	37,000	37,050
入院単価(円)	32,178	33,298	34,050	34,060	34,100
外来単価(円)	12,132	13,046	12,750	12,770	12,800
平均在院日数(日)	38.0	43.0	40	39	38
病床利用率(%)	96.3	96.1	95.9	95.9	96.4

単位:百万円

区分	19実績	20見込	21計画	22計画	23計画
収益	1,549	1,557	1,589	1,592	1,598
医業収益	1,050	1,058	1,077	1,080	1,084
うち入院収益	567	584	596	598	600
うち外来収益	462	464	471	472	474
医業外収益	509	499	512	512	512
うち繰入金	489	465	490	490	490
費用	1,318	1,329	1,378	1,378	1,389
医業費用	1,280	1,306	1,359	1,359	1,370
医業外費用	38	23	19	19	19
純利益	232	229	211	214	207

消費税込み

こども病院

特徴

(ア) 県全域を対象とする小児医療の最後の砦

- ・小児救急医療の弱体化している地域への支援を含め、全県的小児医療ネットワークの中核

(イ) 一般医療機関では対応困難な特殊・専門的な医療の提供

- ・新生児・乳児に対する外科的対応と総合的管理
 - ⇒ 先天性心疾患、水頭症、消化器奇形などを持つ新生児・乳児に対する専門医の立場からのチーム医療
- ・小児に対する造血幹細胞移植
 - ⇒ 骨髄バンクの認定を受け小児に対応できる、県内2ヵ所の医療施設の一つ

(ウ) 県内の小児医療を担う人材の育成

- ・レジデント医のほか、看護、薬剤、栄養など多くの職域の研修施設として次世代を担う小児医療従事者を育成

こども病院



課題

(ア) 県内小児医療の中核病院としての役割りの整備、強化

- ・分娩機能付与による新生児医療の強化
- ・小児医療従事者の育成
- ・県内の医療、福祉、保健機関との連携推進

(イ) 医療の標準化と情報の共有化

- ・電子化されたカルテ情報の有効利用と透明性の確保
- ・DPC準備病院としてのデータ活用による医療の標準化の推進
- ・全国レベルでの標準的小児医療の構築と質向上への取組

(ウ) 経営改善の推進

- ・DPCデータに基づく診療情報と医事経営情報の一元管理
- ・医師、看護師の確保と手術件数の増加対策
- ・小児入院医療管理料の確保対策
- ・入院患者の増加策
- ・紹介患者の増加策

取組み

(ア) 県内小児医療の中核病院としての役割りの整備、強化

- ・分娩および胎児診断機能の付加に向けた取組み
 - ↳ 新生児医療充実のため21床の増床(23年度)
- ・小児循環器エコーの県内診断ネットワークの構築
- ・小児科医の育成環境の充実
- ・地域医療や在宅医療推進のため、「こども家族支援室」機能の充実

(イ) 医療の標準化と情報の共有化

- ・電子カルテを通して医療情報の院内共有化を推進
- ・DPCデータの活用によるエビデンスに基づく小児医療の標準化
- ・ITを活用した全国小児医療施設間のこどもネット(仮称)の構築と運用

(ウ) 経営改善の推進

- ・DPC導入に合わせた病院運営体制の強化(企画情報部門の統一管理)と詳細な経営分析による経営改善の推進
- ・手術室の効率的運用と、医師看護師の適正配備による手術件数の増加
- ・看護師配置の工夫による小児入院医療管理料の維持・確保
- ・救急患者の積極的受入れによる患者数の増加
- ・公開講座の頻回開催など病院のPR強化による紹介患者の増加
- ・多数有する機器について、院内集中管理による購入費や保守料の削減

収支計画

こども病院

	19実績	20見込	21計画	22計画	23計画
新入院患者数(人)	3,472	3,968	3,750	3,800	4,075
延入院患者数(人)	54,771	53,146	55,500	56,090	60,065
新外来患者数(人)	4,781	4,824	5,100	5,200	5,300
延外来患者数(人)	73,711	74,000	75,020	75,100	75,400
入院単価(円)	61,000	70,538	68,575	68,600	67,834
外来単価(円)	15,117	17,492	16,863	16,870	16,900
平均在院日数(日)	14.7	12.4	12.4	12.2	12.2
病床利用率(%)	73.7	71.7	74.9	75.7	73.3

単位:百万円

区分	19実績	20見込	21計画	22計画	23計画
収益	6,323	7,148	7,107	7,151	7,558
医業収益	4,478	5,067	5,096	5,140	5,373
うち入院収益	3,341	3,749	3,806	3,848	4,074
うち外来収益	1,114	1,294	1,265	1,267	1,274
医業外収益	1,845	2,081	2,011	2,011	2,185
うち繰入金	1,822	2,056	1,989	1,989	2,163
費用	6,252	6,848	7,046	7,003	7,389
医業費用	6,035	6,617	6,838	6,815	7,193
医業外費用	217	231	208	188	196
純利益	71	300	61	148	169

消費税込み

循環器病センター

特徴

市原市鶴舞, 人口過疎地

(ア) 循環器病に関する高度専門的医療及び地域医療の提供

1. 高度医療: 全県を対象とする特殊な心疾患や脳血管疾患の診断・治療

⇒ 心疾患: 冠動脈形成術等の専門的かつ特殊な治療、ペースメーカー設置術、アブレーション治療、大動脈ステントグラフト内挿術等の低侵襲治療

⇒ 脳疾患: 脳梗塞急性期における血栓溶解療法、脳動静脈奇形、脳腫瘍に対する手術治療と定位的放射線治療(ガンマナイフ)を組み合わせた治療、特殊な血行再建術(高流量バイパス術、頸動脈ステント留置術など)

2. 一般医療(内科, 外科, 小児科, 眼科, 耳鼻咽喉科, 歯科)

(イ) 当該保健医療圏を超えた急性期循環器病患者の受入

* 24時間365日体制による救急患者の受入

* 循環器病患者全体の約55%は山武・長生・夷隅医療圏からの搬送

循環器病センター

病床数 : 220床
集中治療室 (ICU/CCU/SCU) : 20床
一般病床 : 200床

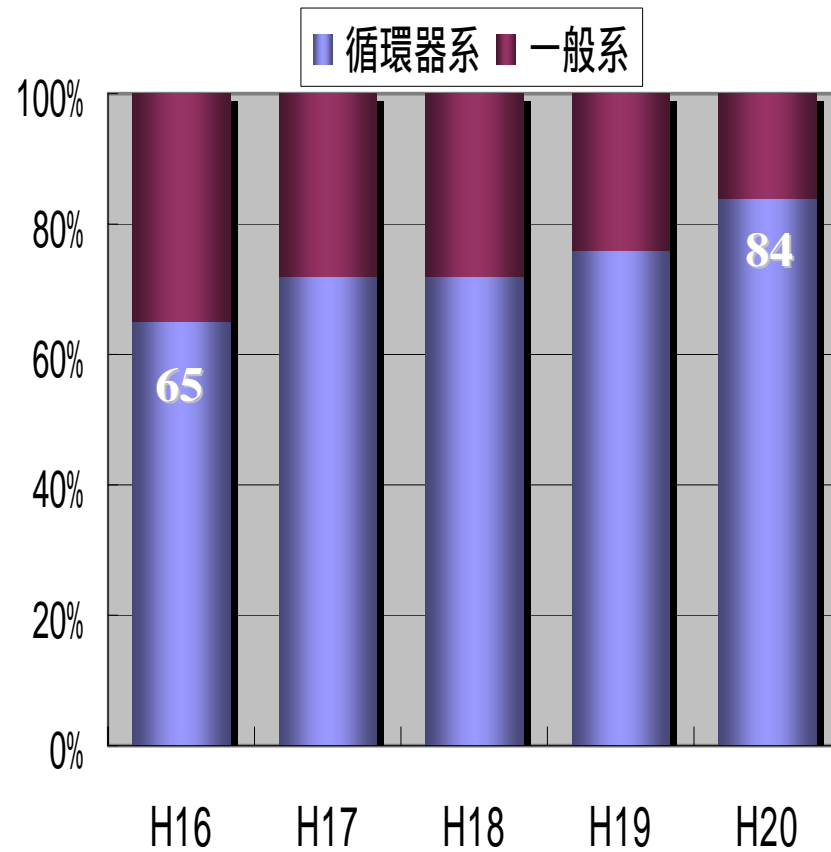
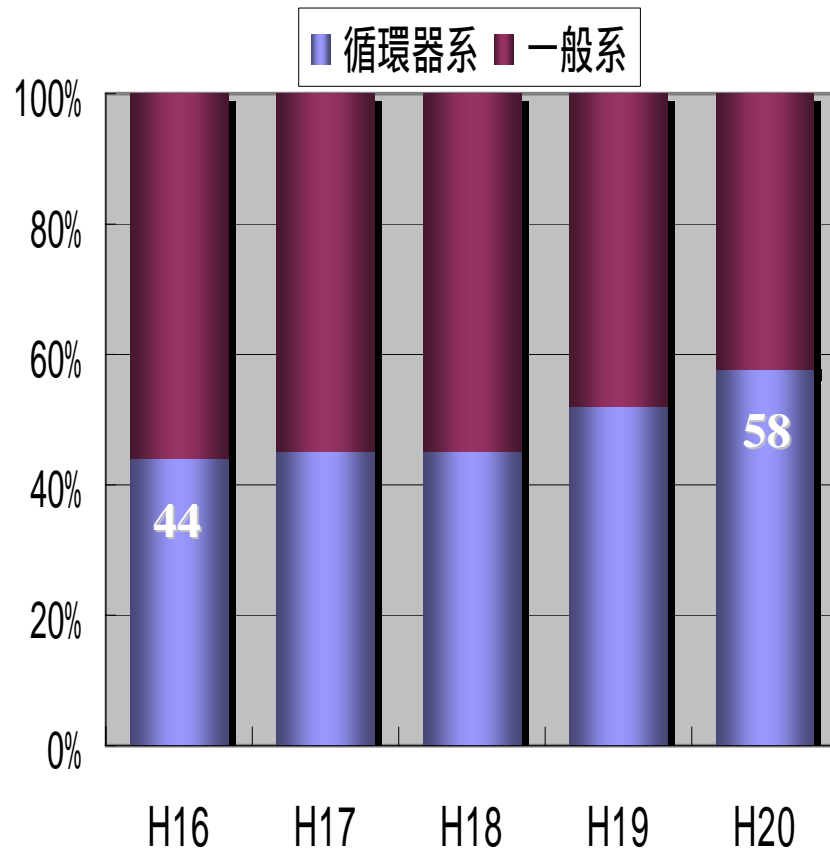


延患者数の診療系別割合

循環器病センター

外来

入院



循環器系: 循環器内科, 心臓血管外科, 神経内科, 脳神経外科, 小児循環器科

課題

(ア) 医師の確保

- ・内科医・眼科医・整形外科医等の常勤医師の不足

(イ) 医療安全管理の徹底

- ・医療の質と安全性の追求

(ウ) 診療体制の充実

- ・循環器病(心疾患, 脳疾患)に関する診療体制
- ・救急医療への対応(24時間, 365日体制)

(エ) 経営改善の推進

- ・多額な初期投資による重い減価償却費負担
- ・収益向上・経費削減等の経営改善に向けた取り組み

(ア) 医師の確保

- ・常勤医師の確保：千葉大学，他大学との交渉，ホームページによる募集
- ・近隣大学病院、自治体病院との医師の人事交流による外来診療の継続

(イ) 医療安全管理の徹底

- ・医療安全管理室の設置による医療の質と安全性の向上
- ・医療事故の再発防止策の徹底

(ウ) 診療体制の充実

- ・循環器系疾患救急医療の充実 ⇨ CCU・SCU(集中治療室)の増床
- ・脳神経系疾患の充実 ⇨ 脳卒中救急医療体制の整備、ガンマナイフ治療充実
- ・心疾患医療の充実 ⇨ 成人先天性心疾患診療、低侵襲血管内治療の充実

(エ) 経営改善の推進

- ・上記(ア)，(イ)，(ウ)の推進，とくに医師確保は急務，救急医療の充実
- ・320列MDCT導入による外来・入院患者の増加
- ・病病・病診連携の強化による平均在院日数の短縮と病床利用率の向上
- ・電子カルテと物流システムの連携による徹底的な経営管理

収支計画

循環器病センター

	19実績	20見込	21計画	22計画	23計画
新入院患者数(人)	4,235	3,981	4,027	4,329	4,436
延入院患者数(人)	65,108	65,003	65,685	67,222	67,955
新外来患者数(人)	10,104	8,173	9,062	9,696	9,948
延外来患者数(人)	98,672	82,284	88,489	94,676	97,136
入院単価(円)	68,287	66,910	71,401	70,647	70,826
外来単価(円)	7,733	7,769	8,080	8,260	8,298
平均在院日数(日)	15.4	16.5	15	14.5	14.3
病床利用率(%)	80.9	81.0	81.8	83.7	84.4

単位:百万円

区分	19実績	20見込	21計画	22計画	23計画
収益	6,684	6,508	6,983	7,111	7,427
医業収益	5,303	5,075	5,498	5,626	5,714
うち入院収益	4,446	4,349	4,690	4,749	4,813
うち外来収益	763	639	715	782	806
医業外収益	1,381	1,432	1,485	1,485	1,713
うち繰入金	1,348	1,407	1,453	1,453	1,681
費用	7,357	7,416	7,732	7,753	7,802
医業費用	6,988	7,056	7,366	7,401	7,464
医業外費用	369	360	366	352	338
純利益	673	908	749	642	375

消費税込み

東金病院

特徴

(ア) 地域における中核的病院

- ・プライマリケアから専門医療まで幅広い医療の提供
 - ⇒ 増加している糖尿病患者に対する地域連携の診療体制の強化
 - ⇒ 専門医療としてのエイズ診療、女性医師による女性専用外来



東金病院



課題

(ア) 経営改善の推進

- ・限られた資源の有効活用

(イ) 地域完結型の医療提供体制の構築

- ・地域診療所との医療連携の拡充

(ウ) 適切な情報提供・説明・病院運営

- ・地域へ適切な情報を定期的な発信

(エ) 糖尿病・腎・内分泌疾患に係る診療機能の強化

- ・九十九里沿岸部の循環型地域医療連携システムを機能強化

取組み**(ア) 経営改善の推進**

- ・他医療機関との連携による患者数の増(4月～9月末現在58ヶ所訪問:連携パスの普及も含む)
- ・教育・研修機能を強化し若手医師の確保による収益の増加
- ・患者数に見合った職員数や経費の適正化
- ・経費の節減(委託契約内容見直しによる節減)
- ・未収金対策の徹底

(イ) 地域完結型の医療提供体制の構築

- ・医師を確保し地域の内科の二次救急輪番制の強化を目指す
- ・糖尿病連携の推進及び糖尿病の循環型地域連携パスの普及拡大(9月現在7診療所パス導入済み)

(ウ) 適切な情報提供・説明・病院運営

- ・市民巡回講座の充実(9月末現在4回実施)、情報誌の定期的発行(年5回)、職員の接遇向上

(エ) 糖尿病・腎・内分泌疾患に係る診療機能の強化

- ・専門医から地域のかかりつけ医への技術移転による医療連携体制の強化

収支計画

東金病院

	19実績	20見込	21計画	22計画	23計画
新入院患者数(人)	1,916	1,323	1,680	1,690	1,700
延入院患者数(人)	24,471	15,421	19,298	19,349	19,401
新外来患者数(人)	7,094	4,825	6,300	6,650	7,000
延外来患者数(人)	61,462	46,663	48,962	52,150	54,731
入院単価(円)	36,939	33,748	33,492	33,503	33,512
外来単価(円)	12,323	14,705	14,298	14,505	14,715
平均在院日数(日)	12.6	11.2	11.3	11.3	11.2
病床利用率(%)	88.2	70.4	88.1	88.4	88.3

単位:百万円

区分	19実績	20見込	21計画	22計画	23計画
収益	2,169	1,641	1,742	1,801	1,852
医業収益	1,674	1,213	1,352	1,410	1,461
うち入院収益	904	520	646	648	650
うち外来収益	757	686	700	756	805
医業外収益	495	428	390	391	391
うち繰入金	476	404	380	380	380
費用	2,580	2,253	2,258	2,251	2,219
医業費用	2,522	2,206	2,222	2,213	2,182
医業外費用	58	46	36	38	37
純利益	411	612	516	450	367

消費税込み

佐原病院

特徴

(ア) 地域における中核的病院

- ・一般医療の提供と併せて、がん治療、心身障害児・者の歯科診療の実施
- ・地域医療連携の強化による訪問看護・訪問診療の実施
- ・救急患者の24時間体制の受入

佐原病院



課題

(ア) 医療スタッフの充実

- ・医師不足対策
- ・チーム医療の充実

(イ) 医療の質の向上

- ・高度かつ良質な機能の充実

(ウ) 地域医療連携の充実

- ・地元医師会との連携強化
- ・かかりつけ医への徹底と紹介患者の受入強化

(エ) 経営改善の推進

- ・赤字体質からの脱却
- ・DPCの円滑な運用

(ア) 医療スタッフの充実

- ・医師の確保(消化器内科、循環器内科、脳外科、眼科)
- ・職員研修の充実 → 目標管理の手法を活かした「職員の士気高揚・自己実現」

(イ) 医療の質の向上

- ・医療事故、感染発生防止対策強化のため医療安全管理体制の整備

(ウ) 地域医療連携の充実

- ・「地域医療連携推進協議会」を活用した病院間の連携強化
- ・訪問看護機能の充実によるかかりつけ医との連携強化
- ・紹介患者に対する医療提供、医療機能等の共同利用実施に向けて紹介率60%以上を目標に地域医療支援病院の取得を目指す

(エ) 経営改善の推進

- ・DPCデータを活用した効率的な運営による収益増加
- ・患者サービス向上の一環として、診察時及び会計の待ち時間短縮に務めることによる外来患者の増加
- ・休止病棟を含め、チーム医療の行いやすい病棟区分への再編成による受入患者数の増加
- ・委託契約の見直し(一括契約、複数年契約等)による費用の削減
- ・医師の事務補助機能を整え医師の本来の医療業務の充実と収入の増加

収支計画

佐原病院

	19実績	20見込	21計画	22計画	23計画
新入院患者数(人)	2,819	2,985	2,900	3,000	3,150
延入院患者数(人)	60,846	62,831	62,921	63,693	66,612
新外来患者数(人)	15,299	14,696	15,200	15,700	16,000
延外来患者数(人)	102,017	102,717	104,422	108,220	109,950
入院単価(円)	31,809	35,571	38,724	38,795	38,972
外来単価(円)	9,220	7,511	7,373	7,420	7,450
平均在院日数(日)	18.8	17.5	17.5	17.5	17.0
病床利用率(%)	83.5	84.4	84.5	85.5	89.2

単位:百万円

区分	19実績	20見込	21計画	22計画	23計画
収益	3,553	3,742	3,940	4,008	4,149
医業収益	2,978	3,113	3,314	3,382	3,523
うち入院収益	1,935	2,235	2,436	2,471	2,596
うち外来収益	941	771	770	803	819
医業外収益	575	629	626	626	626
うち繰入金	564	618	617	617	617
費用	4,316	4,134	4,384	4,297	4,311
医業費用	4,188	4,003	4,266	4,183	4,200
医業外費用	128	131	118	114	111
純利益	763	392	444	289	162

消費税込み